

# みやこ 漁港だより

2024  
8月

No. 162

- ◇ 紙 面 案 内 ◇
- ▷令和6年度通常総会・理事会報告……………(2)～(4)
- ▷新役員紹介……………(5)
- ▷漁場環境調査結果について……………(6)
- ▷職員人事異動のお知らせ……………(7)
- ▷宮古港へのクルーズ船寄港時のお願い……………(8)

表紙：日立浜付近の様子

## (第75年度)

## 催開会

令和6年度通常総会が6月28日(金)宮古漁協ビル4階大会議室において開催され、令和5年度事業報告並びに令和6年度事業計画等の議案が審議され、原案の通り承認・可決されました。

総会には、正組合員370名(本人出席47名、代理出席2名、書面決議321名)が出席いたしました。

## ◆組合長挨拶

本日は、「令和6年度通常総会」を開催いたしましたところ、組合員の皆様には、何かとご多忙のなか、多数のご出席を賜わり、心から厚く御礼申し上げますと共に、常日頃より当組合の各事業に対しまして、格別のご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。

また、組合員の皆様には、新型コロナウイルス感染症の影響により、各会議とも書面出席による開催とさせて頂いておりますが、規制緩和の方針を受け、5年振りの通常開催とさせて頂きました。さて、水産業を取り巻く環境は、地球温暖化などの影響と思われる、海流の変化や海水温の上昇などによる資源水準の低迷、漁獲種類の変化に加え、担い手不足や生産年齢の高齢化、更に、秋サケのここ数年の記録的な大不漁な

ど、総じて厳しい状況が続いております。

当組合におきましても、係る現状を認識しつつ、組合員のご理解とご協力を賜わりながら、役員一同、より一層の組織基盤の強化・充実を目指し、更なる健全経営に向けて、鋭意取り組んで参る所存であります。

結びになりますが、今後とも、組合員の皆様の負託に応えるべく、努力して参りますので、従前にも増してのご協力をお願い申し上げます。通常総会にあたってのご挨拶と致します。

本日は、どうぞ宜しくお願ひ致します。

## ●承認・決定された各議案●

○令和5年度(第75年度)貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案・注記表及び事業報告について

○令和6年度(第76年度)事業計画の設定について

○定款及び定款附属書役員選

任規程の一部変更について  
○監事監査細則の一部改正について

○長期事業計画書(経営改善計画書)に基づく組織改革(高浜支所の廃止)について  
○任期満了に伴う役員選任について

○令和5年度総会(総代会)で議決した事項の処理状況について

○漁業生産力の発展に関する計画の達成状況について  
●報告された事業の概況●  
◎共済事業

「浜の笑顔を共済とともに」JF共済3か年計画」の初年度を実施した結果、事業総利益(粗利益)は551万円となりました。

## ◎購買事業

さけ稚魚の餌飼料は親魚の減少に伴い稚魚減少のため計画を下回ったが、A重油、漁網網類、一般機器類、ゴム製品類、包装資材、その他漁業

資材の取扱量等が増えたことにより、計画を上回る結果となり、事業総利益(粗利益)は513万円となりました。

## ◎販売事業

天然生産物のウニは、口開け回数が増え、前年度より1回減少したが、魚市場個人出荷の生ウニと殻付ウニの増加により、前年度並みの金額となった。アワビについては、前年度同様に海況に恵まれず口開け回数が3回に止まったうえ、ALPS処理水海洋放出の影響を受け単価安となり、金額で前年度を大きく下回った。ナマコについては、前年度並みの水揚数量となったが、同様に単価安により金額で前年度を下回った。養殖生産物のカキの東京豊洲市場向け出荷は、他県の大規模な出荷数量減少により高値で推移したが、高水温の影響や麻痺性貝毒の出荷自主規制により出荷数量の減少となった。ホタテは時化による落下及び同じく麻痺性貝毒の出荷自主規制により大幅な数量、金額の減少となり、すぎ昆布も、高水温の影響を受け出荷数量が伸び悩んだが、販売事業取扱高は計画を上回る結果となり、事業総利益(粗利益)は

## 令和6年度

## 通 常 総

1,060万円となりました。

## ◎製氷冷凍冷蔵事業

製氷工場及び自動製氷販売機による供水体制により、各種漁船漁業及び出荷業者の高鮮度な水産物の水揚げ・販売に寄与した。また、安定した餌料の供給と保管に努め、HACCPの考え方を取り入れた体制により、冷凍販売品及び受託加工品の生産作業を行った。事業取扱数量としては、製氷部門は今年もサンマ・秋サケの不漁が響き計画を下回ったが、前年度を上回る実績となった。冷凍販売部門では、主要魚種であったサンマ・秋サケは不漁により取扱いは数トンであったが、スルメ・タラ等の取扱いが増え、計画・前年度ともに上回る取扱いとなった。受託保管部門は計画を上回り、受託加工部門では、ワカメが減産となったものの、ほぼ計画通りとなり、事業総利益(粗利益)は▲2,563万円となりました。

## ◎漁業自営事業

主要魚種である秋サケは近年、三陸沿岸の海水温が平年より高い状態が続いており、群れが岸に近づけないことや春先に放流した稚魚が海

水温が高い影響で十分に成長できず、増加と回帰率に大きな影響を与えている要因が見られ、漁獲尾数は約2千尾と前年度を大きく下回った。その他の魚種ではサバの漁獲数量増加に加え、イワシの大量入網もあり、昨年度同様に好漁や単価高に恵まれ、総水揚高は計画を上回る結果となり、事業総利益(粗利益)は42,351万円となりました。

## ◎市場事業

地方卸売市場の役割として、受入態勢の強化並びに公正な販売取引を念頭に、品質衛生管理の充実及び県内外の廻来船誘致活動の取り組みを主に、水揚増大を目標に日々努めた結果、底曳網漁業のイカ類及びカゴ漁業・近海小型漁業のタコ類の水揚が著しく、水揚高は増加したものの助宗タラの漁獲量が減少し取扱量は計画を下回る結果となったが、事業総利益(粗利益)は計画を上回る18,379万円となりました。

## ◎造船事業

安全を第一に生産向上に努めた結果、外注工事が多かったものの修理料の増加によ

り、受入利用料は計画を上回る10,069万円となりました。

## ◎指導事業

「浜の活力再生プラン」、「浜の活力再生広域プラン」、「漁業生産力の発展に関する計画」を基軸として取組みながら、高浜水産研究センターでのワカメ・コンブ・ホヤ種苗の安定供給に努めるとともに、「未来につなぐ美しい海計画」に基づく漁場環境調査等を行い関係組合員へ情報を提供した。また、環境の変化による対策を関係機関と図るなど、ALPS処理水海洋放出に伴う漁業者支援事業の周知を行った。

広報誌「漁協だより」により各種講習会等の開催や水産全般に関する諸情報提供と知識の普及に努めた。また、下部組織である女性部・青壮年部に対し、組織の活動支援を図るとともに、漁場管理と船舶の航行安全対策を図りながら、関係機関と連携のもと、流出油発生時の被害拡大防止対策や密漁防止強化と漁業秩序の維持を図るため、密漁啓発看板の設置、漁場監視船等による漁場監視活動に努めた。磯根資源の増繁殖を図るた

め、アワビ種苗240千個及びナマコ種苗20千個、内湾奥域漁場においてはアサリ0.9トン、ホッキ貝1トンをそれぞれ放流し、魚類については、ヒラメ稚魚56千尾、内水面においてはアユ稚魚150kgを放流し、うぐいの増産を目的に産卵場造成にも努めた。

## ◎さけ・ますふ化放流事業

遡上親魚の急激な減少を受け、北海道及び秋田県から種卵を移入し大型で強靱な稚魚の生産に努めたが、津軽石、松山両ふ化場の放流尾数は計画を下回る10,900千尾となりました。

## ◎無線事業

漁船の安全を確保するため、定時気象通報・救命胴衣着用の周知と併せ、各警報・注意報発令時やウニ・アワビ等の開口時にはいち早い情報発信に努めた。北朝鮮ミサイル発射時には漁業安全情報伝達迅速化システムにより緊急速報を発信致しました。

## ◎魚類養殖事業

第4期目は、令和5年4月より7月中旬までに129.78トンを出荷し、水揚金額は事業計画を上回る12,051万円の実績となりました。

◎利用事業

各共同利用施設の適正な管理と運営を図り、組合員への利用促進に努めました。

◎その他の事業

森林が海洋資源に与える重要性を踏まえ、森林監視巡視委託による資産の維持と管理に努めました。

令和6年度  
基本方針・重点事項

我が国の経済は、コロナ禍から回復や各種政策の効果を通じ、景気が持ち直していくことが期待されるものの、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクや金融資本市場の変動等の影響に十分注意し、さらに、能登半島地震の経済に与える影響に十分留意しながら先行きを注視する必要があります。

一方、水産業を取り巻く環境は、総じて厳しい状況下が続いており、組合員の期待と信頼に応える漁協組織体として、従前にも増してより健全な漁業経営機能の確立と組織基盤の強化・充実を目指し、「岩手県漁協組織強化計画」を基軸に、JFグループ岩手

の新運動方針等の着実な推進と実現に取り組み、また、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させた活力ある漁業を構築するため、各種計画及び資源管理などに取り組み、浜の構造改革や漁業者（組合員）の所得向上に向けた改革を促進し、協同組織体として不測の事態にも耐えうる強靱な体制構築が必須であります。

この実践には、組合員各位のご理解・ご協力を賜わってこそ実効が挙がるものであり、次の重点事項を掲げ鋭意専心するものであります。

1. 組合員の信頼に応えうる更なる組織強化を目指し、「JFグループ新運動方針」に対応した「岩手県版アクションプラン」の実践に取り組んで参ります。
2. 漁業再生・発展と諸課題解決に向けて「浜の活力再生（広域）プラン」や各種計画、資源管理協定を基軸に、引き続きその実行に取り組んで参ります。
3. 組織基盤の強化・充実を目指し「長期事業計画（経営改善計画）」の着実な推進と実現に取り組んで参ります。
4. 環境保全対策の継続実施

と海洋環境の注視に努め、資源管理型漁業の効果的実践による漁業生産力の向上、及び適切な漁場管理に努めて参ります。

5. 衛生管理の徹底による各種水産物の「安全・安心・高品質化」に取り組んで参ります。
6. 組合員の経営安定に貢献しうる各般事業の効率的かつ積極的展開、及びトータルコスト削減と可能な限りの自助努力を傾注し、組合経営の健全性確保と組織基盤の強化・安定を目指します。
7. コンプライアンス（法令等遵守）の徹底と内部管理体制の強化に努めます。
8. 感染症対策等による行動変容への対応に努めます。

理事会報告

第一回理事会

(4月26日)

- (一) 組合加入・脱退について (継承加入者)
  - 沼里 剛 (津軽石地区)
- (二) 令和6年度コンプライアンス・プログラムの制定について
- (三) 資産自己査定報告について

第二回理事会

(5月20日)

- (一) 組合加入について (新規加入者)
  - 前川 秀人 (崎山地区)
  - 浜田 涼 (津軽石地区)
- (二) 定款及び定款附属書役員選任規程の一部変更について
- (三) 県常例検査結果の通知事項に対する改善状況報告について
- (四) 買受人新規申込みの承認について
- (五) 令和5年度業務全般監査報告について
- (六) 運営部会の廃止について

第三回理事会

(6月3日)

- (一) 総代協議会に提案する全地区役員候補者の推薦について
- (二) 推薦委員の報告について
- (三) 業務報告について
- (四) トラウトの出荷状況等について
- (五) 総代会・総会開催日時決定について
- (六) 総代会・総会開催日時決定について
- (七) 総代会・総会提出議案審議について
- (八) 総代会・総会開催日時決定について
- (九) その他
- (一) 業務報告について
- (二) トラウトの出荷状況等について
- (三) 推薦委員の報告について
- (四) 長期事業計画書（経営改善計画書）に基づく組織改革（高浜支所の廃止）について
- (五) 総会提出議案審議について
- (六) 代表理事組合長及び副組合長理事並びに販売担当理事の選任について
- (七) 理事の辞任について
- (八) 理事・監事の席順について
- (九) 令和6年度における理事の報酬額決定について
- (一) 第2回総代会提出議案審議および開催日時決定について
- (二) 令和6年度における役員退任慰労金の支給について

# 新組合長就任の挨拶

代表理事組合長 山根 秀幸



この度、宮古漁業協同組合代表理事組合長に就任致しました山根秀幸でございます。責務に邁進する所存でありますので、宜しくお願い申し上げます。

御承知のように、漁業を取巻く環境は年々厳しくなっており、漁業者、漁協経営にとつて大変厳しい状況が続いておりますが、副組合長並びに役員一同と一致団結し、関係機関のご指導を頂きながら、この難局を乗り越えて行きたいと決心を新たにしているところであります。

新型コロナウイルス感染症や異常気象による自然災害等、全国的にも非常に困難な時代となりましたが、前組合長の意思を引き継ぎ、組合員の皆様と一丸となつて歩んで参りたいと考えております。

最後になりますが、大井誠治前組合長のこれまでの御活躍に敬意と感謝を申し上げますとともに、組合員皆様のご繁栄とご健勝を祈り就任の挨拶と致します。

## 新役員紹介

去る六月二十八日(金)宮古漁協ビル四階大会議室で開催された通常総会において、次の方々が役員に選任されました。



副組合長理事(新)  
船越 仁



代表理事組合長(新)  
山根 秀幸



理事(再)  
金澤 正男



理事(新)  
岩間 真司



理事(再)  
平子 昌彦



理事(再)  
小 鯖 一



販売担当理事(新)  
小田 憲男



理事(再)  
中村 茂男



理事(新)  
大須賀 敏之



理事(再)  
堀内 喜逸郎



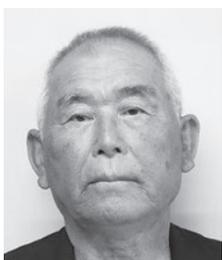
理事(再)  
山根 義之



理事(新)  
前川 善昭



監事(新)  
金澤 広記



監事(再)  
加倉 憲雄



監事(再)  
亀 梨 正明



代表監事(新)  
山根 正敬



理事(再)  
大井 誠治

※大井誠治理事(再)は、7月1日付で退任されました。

# 漁場環境調査結果について

「未来につなぐ美しい海計画」に基づく漁場環境調査について、日出島・白木・白浜漁場の三定点における透明度・水温・比重・栄養塩(硝酸態窒素)の調査結果について御報告致します。

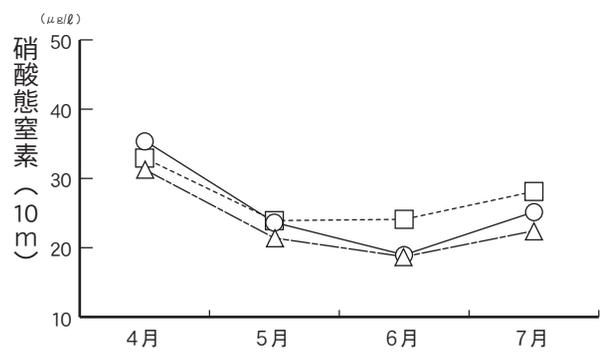
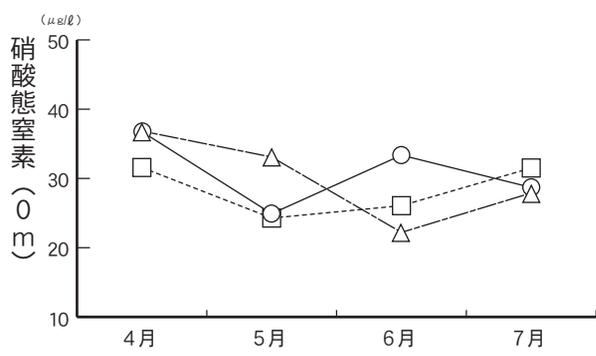
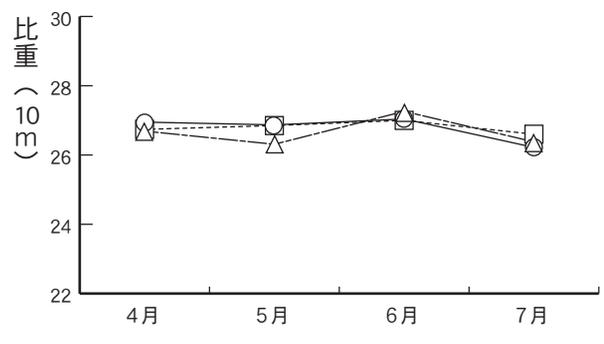
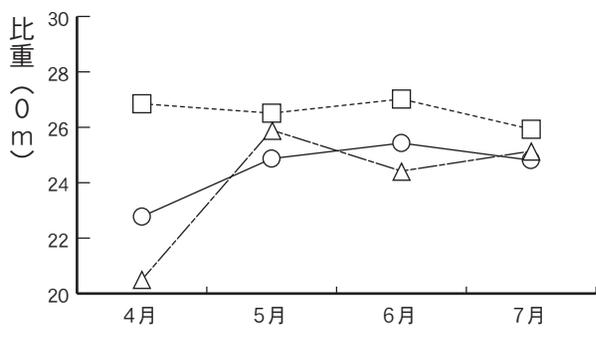
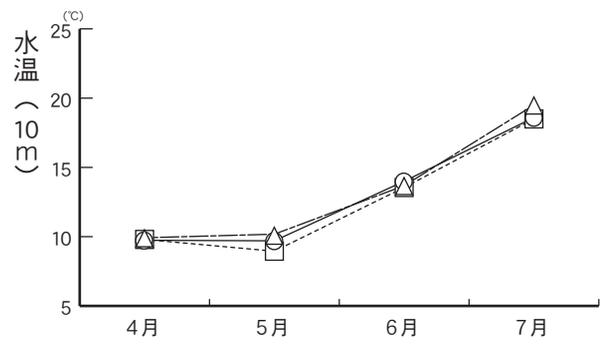
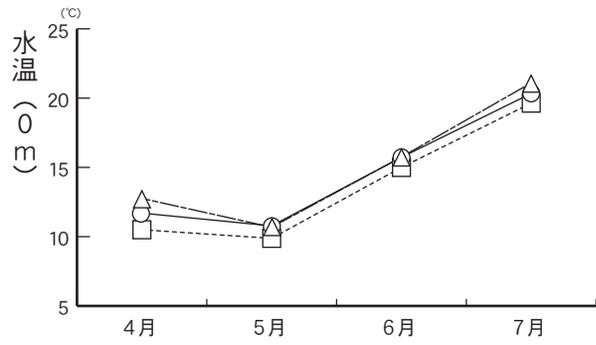
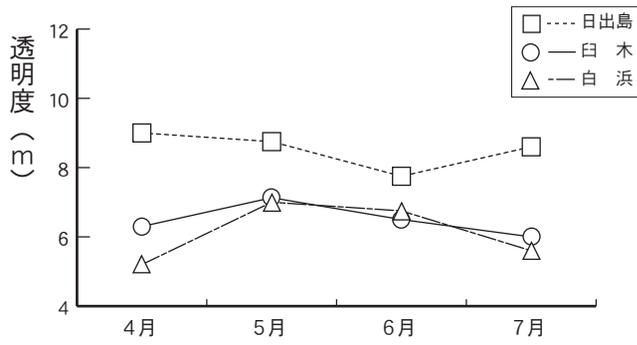
今回の調査結果と昨年同期を比較しますと、水温：5月から7月までは、昨年より低く推移しています。比重：昨年同様安定しております。栄養塩：0m層の5月が昨年より低くなつていますが、その他の月と10m層は高く推移しています。今後も漁協だより等、各支店・支所にて結果がご覧になれますので、皆様には参考にして頂きますようお願い致します。

## 若布・昆布養殖管理用の栄養塩濃度について

- ・栄養塩NO<sub>3</sub>-N(硝酸態窒素)単位：μg/l という記号で表し、海水1l中のNO<sub>3</sub>-N含有量を表す。(1μg/l=0.000001g/l)
- ・10μg/l以下になると芽落ちや色落ちが起こる危険な状態となる。
- ・20μg/l以上を一応安全な目安としているが、20~30μg/lでも晴天の日が続いたり、小潮時など海水の交換が悪い時は、芽落ちや色落ちが起きる事がある。

## 《栄養塩とは?》

栄養塩とは、海水中に溶けている肥料分のことで、窒素、リン、珪素が三大要素と呼ばれており、栄養塩の中でも特に窒素系の栄養塩(硝酸態窒素)は、タンパク質を形成する重要な元素であることから、この変動が若布、昆布の作柄に大きな影響を与えている事が知られております。



## 『職員人事異動のお知らせ』

### 1. 退職

氏名	職名	備考
八木浩司	金融共済部長	令和6年5月31日付 定年退職
佐藤和典	総務部高浜支所長	令和6年7月31日付 定年退職
川戸京子	市場販売部市場販売課市場販売電算・統計係長	令和6年7月31日付 定年退職
北村優幸	製氷冷凍部生産課生産係	令和6年7月31日付 定年退職
前川恭	総務部高浜支所係	令和6年7月31日付 自己都合
竹林敦司	総務部松山ふ化場係（嘱託）	令和6年7月31日付 自己都合

### 2. 採用（令和6年6月1日付）

氏名	職名	備考
八木浩司	金融共済部長（嘱託）	再雇用
金澤則雄	総務部庶務課庶務係（嘱託）	東日本信漁連退職後、再採用

### 3. 異動（令和6年8月1日付）

氏名	異動後	異動前
舘下仁志	総務部崎山支所長（嘱託）	総務部鯨ヶ崎支店長（嘱託）
小笠原克治	総務部鯨ヶ崎支店長	総務部崎山支所長代理
小林耕也	市場販売部市場販売課市場販売係	製氷冷凍部生産課生産係
伊藤恭輔	総務部鯨ヶ崎支店係	業務部業務課業務係
乙戸玲温	業務部業務課業務係	市場販売部市場販売課市場販売係
林下竜聖	製氷冷凍部生産課生産係	総務部鯨ヶ崎支店係
金澤則雄	総務部津軽石支店係（嘱託）	総務部庶務課庶務係（嘱託）

### 漁船保険にご加入中の方へ

マリンモーターの保険加入をご希望する方は、下記事項をご確認のうえ、本所指導課又は各支店支所へお問い合わせください。

#### ○保険填補について

- 船体に固定している場合に限り保険填補の対象となること。  
※損傷したマリンモーターは船体に固定したまま確認するため、外して業者へ持ち込むと保険対応不可です。
- 13原因（沈没、座礁、衝突、火災、銃砲弾の命中、爆発、高圧ガスの噴出、盗難、異常な浸水、異常な風浪、拿捕、抑留、落雷）のみの保険填補であること。  
※マリンモーターは電気設備のため、不調では保険対応不可です。
- 保険填補の額が1万円に満たないときは、保険填補できません。

#### ○保険引受について

- メーカー、型式、年式、購入費等を確認するため、請求書又は見積書の提出が必要です。
- 保険価額・保険金額が増額となり差額保険料が発生する可能性があります。
- 漁期間中のみでの加入はできません。

## 宮古港へのクルーズ船寄港時のお願い

下記の通り、クルーズ船の入港予定があります。付近を航行する際は、クルーズ船の運航に支障のないよう、又、航路に漁具の設置等をしないよう、ご協力をお願いします。なお、入出港時間が変更となる場合がありますので、ご注意願います。

入港日	入港	出港	船名等
9月22日(日)	8:00	18:00	シーボーン・オデッセイ (総トン数:32,477トン 全長:198m 全幅:30m)
9月24日(火)	8:00	18:00	シルバー・ミュージ (総トン数:40,700トン 全長:213m 全幅:27m)
9月27日(金) 9月29日(日)	10:00 14:00	13:00 17:00	にっぽん丸 (総トン数:22,472トン 全長:167m 全幅:24m)
9月29日(日)	8:00	18:00	シルバー・ノヴァ (総トン数:55,051トン 全長:244m 全幅:30m)
10月26日(土)	8:00	17:00	レガッタ (総トン数:30,277トン 全長:181m 全幅:25m)

## 漁業経営セーフティネット構築事業について

### 《事業の内容》

燃油高騰対策として、漁業者と国が資金を積み立て、燃油価格が一定の基準を超えて上昇した場合に補てん金が支払われます。積立(契約)期間は3年で満了の申し出がなければ同じ内容で自動更新され、積立残額は翌年度に繰越されます。また、積立金は毎年納入します。

#### 1. 補てん基準

補てん金は四半期(3ヶ月)ごと、燃油の平均価格が★7中5平均値を超えた場合に支払われます。(補てん金の内訳「国からの助成金」+「積立金からの取崩額」)

★7中5平均値：直前7年間(84ヶ月分)の各月の平均価格のうち高値12ヶ月分と低値12ヶ月分を除いた5年(60ヶ月)分の平均値

#### 2. 急騰対策

補てん基準価格を超えない場合でも一定期間に急激な上昇があった場合には補てん金が支払われるほか、各加入者の判断に応じて、加入者の積立金から付加補填金が支払われます。

◆問い合わせ先 本所指導課まで◆

### みやこ漁協だより

令和6年8月発行 No. 162

(創刊 昭和60年6月)

発行 宮古市光岸地4番40号

宮古漁業協同組合

(☎宮古(62)1234(代))

編集責任者 山根 秀幸

### 編集後記

7月3日に新紙幣が発行され、市内でも出回るようになってきました。みなさんはもうご覧になりましたか？私は、発行されてすぐにお釣りで使ったのですが、それきりでなかなか使えずにいます。新紙幣の発行は20年ぶりで、デザインも大きく変わり、新たに採用された3Dホログラムは世界で初めて銀行券に採用されたそうです！やはりまだ見慣れませんが、これからお財布にいっぱい入ってきてくれたらいいなと思います。

次号(第百六十三号)は令和七年一月発行の予定です。